

平成25年度海洋水産資源開発事業成果報告会プログラム

～連携が生み出す力～

日時：平成25年12月2日（月） 14:00～18:00

場所：ホテルルポール麹町（麹町会館）2階「サファイヤ」

住所：東京都千代田区平河町2-4-3 Tel:03-3265-5365

（進行：開発調査センター所長 井上清和）〈以下敬称略〉

- | | | |
|---|--------------------------|-------------|
| 1 開催あいさつ | 水産総合研究センター理事長 松里壽彦 | 14:00-14:05 |
| 2 成果報告等 | | |
| (1) 開発調査センターの概要について 【資料1】 | 開発調査センター副所長 堀川博史 | 14:05-14:15 |
| (2) 成果報告 | | |
| 1) 組織内外との連携による遠洋かつお釣り漁業の技術開発
～活餌カタクチイワシの安定供給に係る取組事例を中心に～ 【資料2】 【資料3】 | | |
| 報告者：開発調査センター浮魚類開発調査グループ | 調査員 木村拓人 | 14:15-14:35 |
| 報告者：瀬戸内海区水産研究所 | 増養殖部長 藤井徹生 | 14:35-14:50 |
| 質疑応答 | | 14:50-14:55 |
| 2) ズワイガニ資源の持続的利用に向けた取り組み
～混獲回避漁具の開発・実証化・現場普及について～ 【資料4】 | | |
| 報告者：開発調査センター底魚・頭足類開発調査グループ | 調査員 貞安一廣 | 14:55-15:30 |
| 報告者：鳥取県水産試験場 沖合漁業部 海洋資源室 | 研究員 志村 健 | |
| 質疑応答 | | 15:30-15:40 |
| — 休憩 — | | 15:40-15:45 |
| 3) タチウオひきなわ漁業に係る機器開発と社会連携 【資料5】 【資料6】 【資料7】 | | |
| 報告者：開発調査センター資源管理開発調査グループ サブリーダー 廣瀬太郎 | | 15:45-16:10 |
| 報告者：一般社団法人大田工業連合会 | 事務局長 浅野和人 | 16:10-16:25 |
| 報告者：大分県立津久見高等学校海洋科学科 | 教諭 堤 進 | 16:25-16:45 |
| | 海洋科3年 高橋健斗 | |
| | 海洋科3年 平嶋将和 | |
| 質疑応答 | | 16:45-16:50 |
| 4) 質疑応答（全体を通して） | | 16:50-16:55 |
| 3 挨拶 | 水産総合研究センター理事（開発調査担当）武井 篤 | 16:55-17:00 |
| — 会場移動 — | | |
| 4 調査に係る製品試食会（3階 アメジスト）
（メニュー未定） | | 17:05-18:00 |
| 予定の食材： | | |
| ハタハタ，クロザコエビ（沖合底びき網），サンマ（北太平洋さんま漁業）， | | |
| メバチ（遠洋まぐろはえなわ），カツオ（遠洋かつお釣），タチウオ（ひきなわ釣） | | |